

複式簿記の理論と計算 問題集

解答編

第 I 部 商業簿記

第 1 章 簿記の基礎概念

☆ 問題 1	①	×	②	×	③	○	④	○	⑤	×
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

☆ 問題 2	例	現金の（増加）→ 現金勘定の（借方）	借入金の（増加）→ 借入金勘定の（貸方）
	①	現金の（増加）→ 現金勘定の（借方）	資本金の（増加）→ 資本金勘定の（貸方）
	②	商品の（増加）→ 仕入勘定の（借方）	買掛金の（増加）→ 買掛金勘定の（貸方）
	③	現金の（減少）→ 現金勘定の（貸方）	備品の（増加）→ 備品勘定の（借方）
	④	現金の（増加）→ 現金勘定の（借方）	受取利息の（発生）→ 受取利息勘定の（貸方）
	⑤	現金の（減少）→ 現金勘定の（貸方）	給料の（発生）→ 給料勘定の（借方）

☆ 問題 3	現 金		借 入 金	
	① 資本金 900,000	② 仕 入 180,000	⑧ 現 金 800,000	
	④ 売 上 570,000	③ 備 品 250,000		
		⑤ 給 料 90,000		
		⑥ 通信費 15,000		
		⑦ 仕 入 160,000		
		⑧ 諸 口 809,000		
	備 品		仕 入	
	③ 現 金 250,000		② 現 金 180,000	
			⑦ 諸 口 360,000	
	通 信 費		給 料	
	⑥ 現 金 15,000		⑤ 現 金 90,000	
	支 払 利 息		売 上	
	⑧ 現 金 9,000			④ 現 金 570,000
	資 本 金		買 掛 金	
		① 現 金 900,000		⑦ 仕 入 200,000

第2章 簿記一巡の手続き

☆問題1 [仕 訳]

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	現 金	1,000,000	資 本 金	1,000,000
②	現 金	800,000	借 入 金	800,000
③	土 地 建 物	650,000 280,000	現 金	930,000
④	商 品	320,000	現 金	320,000
⑤	現 金	276,000	商 品 商品売買益	230,000 46,000
⑥	給 料	7,000	現 金	7,000
⑦	借 入 金 支 払 利 息	200,000 6,000	現 金	206,000

[取引要素の結合関係]

①	ア	資 産	イ	資 本	⑥	シ	費 用	ス	資 産
②	ウ	資 産	エ	負 債	⑦	セ	負 債	ソ	資 産
③	オ	資 産	カ	資 産		タ	費 用		
④	キ	資 産	ク	資 産					
⑤	ケ	資 産	コ	資 産					
			サ	収 益					

☆問題2

仕 訳 帳

1

平成 ×年		摘 要	元 丁	借 方	貸 方
12	5	(現 金)	1	1,500,000	
		(借入金)	11		1,500,000
		松原銀行から現金を借り入れ			
	6	(備 品)	5	230,000	
		(現 金)	1		230,000
		岸和田商会から商品陳列ケースを買い入れ			
	8	(商 品)	3	840,000	
		(現 金)	1		840,000
		堺商店から商品を仕入れ			
	11	(現 金) 諸 口	1	820,000	
		(商 品)	3		630,000
		(商品売買益)	13		190,000
		富田林商店に商品を売り上げ			

☆ 問題 3

現金										1			
平成 ×年		摘 要		仕 丁	借 方		平成 ×年		摘 要		仕 丁	貸 方	
4	1	資 本 金		1	200,000		4	3	商 品		1	78,000	
	8	受 取 手 数 料		〃	2,000			15	給 料		〃	6,000	
	13	諸 口		〃	72,000								

商 品 3															
平成 ×年		摘 要		仕 丁		借 方		平成 ×年		摘 要		仕 丁		貸 方	
4	3	現 金		1	78,000		4	13	現 金		1	60,000			

資 本 金								5							
平成 ×年		摘 要		仕 丁		借 方		平成 ×年		摘 要		仕 丁		貸 方	
								4	1	現	金	1			200,000

商 品 売 買 益										6			
平成 ×年		摘 要		仕 丁	借 方		平成 ×年		摘 要		仕 丁	貸 方	
							4	13	現 金		1	12,000	

受 取 手 数 料										7			
平成 ×年		摘 要		仕 丁	借 方		平成 ×年		摘 要		仕 丁	貸 方	
							4	8	現 金		1	2,000	

給 料										8			
平成 ×年		摘 要		仕 丁	借 方		平成 ×年		摘 要		仕 丁	貸 方	
4	15	現 金		1	6,000								

☆ 問題 4

合 計 試 算 表
平成×年 8月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
185,500	現 金	92,500
84,000	商 品	57,500
30,000	備 品	
12,000	借 入 金	28,000
	資 本 金	130,000
	商 品 売 買 益	8,500
	受 取 手 数 料	3,500
4,300	給 料	
2,700	水 道 光 熱 費	
1,500	支 払 利 息	
320,000		320,000

残 高 試 算 表

平成×年 8月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
93,000	現 金	
26,500	商 品	
30,000	備 品	
	借 入 金	16,000
	資 本 金	130,000
	商 品 売 買 益	8,500
	受 取 手 数 料	3,500
4,300	給 料	
2,700	水 道 光 熱 費	
1,500	支 払 利 息	
158,000		158,000

☆ 問題 5

(1) 振替仕訳

日 付	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
8/31	商品売買益	8,500	損 益	12,000
	受取手数料	3,500		
8/31	損 益	8,500	給 料	4,300
			水道光熱費	2,700
			支払利息	1,500
8/31	損 益	3,500	資 本 金	3,500

(2) 総勘定元帳の締め切り

現 金	
185,500	92,500
8/31 次期繰越	93,000
185,500	185,500
9/ 1 前期繰越	93,000

備 品	
30,000	8/31 次期繰越 30,000
9/ 1 前期繰越	30,000

資 本 金	
8/31 次期繰越	133,500 130,000
8/31 損 益	3,500
133,500	133,500
9/ 1 前期繰越	133,500

商 品	
84,000	57,500
8/31 次期繰越	26,500
84,000	84,000
9/ 1 前期繰越	26,500

借 入 金	
12,000	28,000
8/31 次期繰越	16,000
28,000	28,000
9/ 1 前期繰越	16,000

商品売買益	
8/31 損 益	8,500 8,500

受取手数料				給 料			
8/31 損	益	3,500		4,300	8/31 損	益	4,300
水道光熱費				支 払 利 息			
		2,700	8/31 損	1,500	益	1,500	
損 益							
8/31 給	料	4,300	8/31 商品売買益				
〃	水道光熱費	2,700	〃 受取手数料				
〃	支払利息	1,500					
〃	資 本 金	3,500					
		12,000					

繰越試算表		
平成×年8月31日		
借 方	勘 定 科 目	貸 方
93,000	現 金	
26,500	商 品	
30,000	備 品	
	借 入 金	16,000
	資 本 金	133,500
149,500		149,500

第3章 商品売買

☆問題1

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	仕 入	420,000	買 掛 金	420,000
②	売 掛 金	460,000	売 上	460,000
③	売 上	15,000	売 掛 金	15,000
④	仕 入	560,000	買 掛 金	540,000
			現 金	20,000
⑤	買 掛 金	8,000	仕 入	8,000
⑥	売 掛 金	610,000	売 上	610,000
	発 送 費	35,000	現 金	35,000

問題2

[松阪商店]

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	買 掛 金	375,000	現 金	367,500
			仕 入	7,500
②	買 掛 金	480,000	現 金	475,200
			仕入割引	4,800

[志摩商店]

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	現金	367,500	売掛金	375,000
	売上	7,500		
②	現金	475,200	売掛金	480,000
	売上割引	4,800		

☆ 問題 3

仕 入 帳

平成×年	摘要	内 訳	金 額
9 2	明和商店 掛け		
	パソコン 10台 @¥150,000	1,500,000	
	プリンター 20台 @¥ 70,000	1,400,000	
	引取運賃現金払い	60,000	2,960,000
5	明和商店 掛け値引		
	パソコン 2台 @¥ 10,000		20,000
17	御浜商店 掛け		
	パソコン 15台 @¥170,000	2,550,000	
	引取運賃現金払い	50,000	2,600,000
30	総仕入高		5,560,000
	仕入値引・戻し高		20,000
	純仕入高		5,540,000

売 上 帳

平成×年	摘要	内 訳	金 額
9 7	渡会商店 掛け		
	パソコン 6台 @¥180,000		1,080,000
13	渡会商店 掛け戻り		
	パソコン 1台 @¥180,000		180,000
22	多気商店 掛け		
	パソコン 10台 @¥210,000	2,100,000	
	プリンター 15台 @¥ 95,000	1,425,000	3,525,000
24	多気商店 掛け値引		
	プリンター 5台 @¥ 3,000		15,000
30	総売上高		4,605,000
	売上値引・戻り高		195,000
	純売上高		4,410,000

☆ 問題 4

商品有高帳

(先入先出法)

平成×年	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額
5	1	前月繰越	800	200	160,000			800	200	160,000
	4	売り上げ			600	200	120,000	200	200	40,000
	9	仕 入 れ	200	246	49,200			200	200	40,000
								200	246	49,200
	15	売り上げ			200	200	40,000			
					100	246	24,600	100	246	24,600
	22	仕 入 れ	500	280	140,000			100	246	24,600
								500	280	140,000
	27	売り上げ			100	246	24,600			
					60	280	16,800	440	280	123,200
	31	次月繰越			440	280	123,200			
			1,500		349,200	1,500		349,200		
6	1	前月繰越	440	280	123,200			440	280	123,200

商品有高帳

(移動平均法)

平成×年	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額
5	1	前月繰越	800	200	160,000			800	200	160,000
	4	売り上げ			600	200	120,000	200	200	40,000
	9	仕 入 れ	200	246	49,200			400	223	89,200
	15	売り上げ			300	223	66,900	100	223	22,300
	22	仕 入 れ	500	280	140,000			600	270.5	162,300
	27	売り上げ			160	270.5	43,280	440	270.5	119,020
	31	次月繰越			440	270.5	119,020			
			1,500		349,200	1,500		349,020		
6	1	前月繰越	440	270.5	119,020			440	270.5	119,020

問題 5

商品有高帳

(総平均法)

平成×年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額
5	1 前月繰越	800	200	160,000				800	200	160,000
	4 売り上げ				600	232.8	139,680	200		
	9 仕 入 れ	200	246	49,200				400		
	15 売り上げ				300	232.8	69,840	100		
	22 仕 入 れ	500	280	140,000				600		
	27 売り上げ				160	232.8	37,248	440	232.8	102,432
	31 次月繰越				440	232.8	102,432			
		1,500		349,200	1,500		349,020			
6	1 前月繰越	400	232.8	102,432				440	232.8	102,432

問題 6

①	棚卸減耗費	¥	1,400
②	商品評価損	¥	5,880

第 4 章 現金預金

☆ 問題 1 [仕 訳]

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	備 品	350,000	現 金	350,000
②	仕 入	426,000	現 金	220,000
			買 掛 金	206,000
③	現 金	72,000	受取手数料	72,000
④	現 金	60,000	受取配当金	60,000
⑤	現 金	290,000	売 上	290,000
⑥	仕 入	328,000	現 金	290,000
			買 掛 金	38,000
⑦	給 料	180,000	現 金	180,000
⑧	現 金	240,000	売 掛 金	240,000

現金出納帳

平成×年		摘 要	収 入	支 出	残 高
10	1	前月繰越	830,000		830,000
	3	エアコン購入		350,000	480,000
	6	小牧商店から仕入れ，代金支払い		220,000	260,000
	9	江南商店から手数料受け取り	72,000		332,000
	13	配当金受け取り	60,000		392,000
	18	春日井商店に売り上げ，小切手受け取り	290,000		682,000
	20	扶桑商店から仕入れ，他人振出小切手支払い		290,000	392,000
	22	給料支払い		180,000	212,000
	26	豊根商店から掛け代金回収，送金小切手受け取り	240,000		452,000
	31	次月繰越		452,000	
			1,492,000	1,492,000	
11	1	前月繰越	452,000		452,000

☆ 問題 2 [仕 訳]

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	仕 入	145,000	当 座 預 金	145,000
②	支 払 家 賃	150,000	当 座 預 金	105,000
			当 座 借 越	45,000
③	当 座 借 越	45,000	売 上	269,000
	当 座 預 金	115,000		
	売 掛 金	109,000		
④	買 掛 金	138,000	当 座 預 金	115,000
			当 座 借 越	23,000
⑤	当 座 借 越	23,000	売 掛 金	240,000
	当 座 預 金	122,000		
	現 金	95,000		
⑥	買 掛 金	94,000	当 座 預 金	94,000

当座預金出納帳

平成×年		摘 要	預 入	引 出	借 または 貸	残 高
3	1	前月繰越	250,000		借	250,000
	4	豊川商店に仕入れ代金支払い		145,000	〃	105,000
	6	今月分家賃支払い		150,000	貸	45,000
	10	幸田商店から売り上げ代金受け取り	160,000		借	115,000
	17	吉良商店に買掛金支払い		138,000	貸	23,000
	22	碧南商店から売掛金回収	145,000		借	122,000
	26	犬山商店に買掛金支払い		94,000	〃	28,000
	31	次月繰越		28,000		
			555,000	555,000		
4	1	前月繰越	28,000		借	28,000

☆ 問題 3

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①		現 金	20,000	現金過不足	20,000
②	(1)	現金過不足	10,000	買 掛 金	10,000
	(2)	交 通 費	24,000	受取手数料	86,000
		水道光熱費	54,000		
		現金過不足	8,000		
	(3)	現金過不足	2,000	雑 益	2,000

問題 4

銀行勘定調整表

平成×年 7 月 31 日

	当座預金出納帳	残高証明書
7 月 31 日 残高	¥ 876,000	¥ 840,000
(加算) ① 未渡し小切手 (買掛金支払い)	70,000	
② 時間外預け入れ		170,000
③ 売掛金回収誤記入	54,000	
計	¥ 1,000,000	¥ 1,010,000
(減算) ④ 未取り付け小切手		55,000
⑤ 通信費未記入	45,000	
調整後残高	¥ 955,000	¥ 955,000

☆問題 5

小口現金出納帳

受 入	平成×年		摘 要	支 払	内 訳				残 高
					交通費	通信費	消耗品費	雑 費	
50,000	2	8	前週繰越						50,000
		〃	携帯電話カード	15,000		15,000			35,000
		9	タクシー代	5,600	5,600				29,400
		10	お茶菓子	3,700				3,700	25,700
		11	帳簿・筆記具	2,200			2,200		23,500
		12	地下鉄回数券	1,600	1,600				21,900
		〃	郵便切手	3,000		3,000			18,900
		13	接客コーヒー代	3,500				3,500	15,400
			合 計	34,600	7,200	18,000	2,200	7,200	
34,600		〃	本日補給						50,000
		〃	次週繰越	50,000					
84,600				84,600					
50,000	2	15	前週繰越						50,000

第 5 章 債権債務

☆問題 1

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	売掛金（十津川商店）	150,000	売 上	380,000
	売掛金（飛鳥商店）	230,000		
②	仕 入	178,000	当座預金	50,000
			買掛金（山添商店）	128,000
③	売 上	9,000	売掛金（十津川商店）	9,000
④	仕 入	192,000	買掛金（山添商店）	104,000
			買掛金（大淀商店）	88,000
⑤	現 金	30,000	売 上	135,000
	売掛金（十津川商店）	105,000		
⑥	買掛金（山添商店）	13,000	仕 入	13,000
⑦	現 金	230,000	売掛金（十津川商店）	230,000
⑧	買掛金（山添商店）	190,000	当座預金	270,000
	買掛金（大淀商店）	80,000		

売掛金元帳

十津川商店

平成×年	摘 要	借 方	貸 方	借または貸	残 高
12	1 前月繰越	45,000		借	45,000
	5 売り上げ	150,000		〃	195,000
	11 値 引 き		9,000	〃	186,000
	15 売り上げ	105,000		〃	291,000
	24 入 金		230,000	〃	61,000
	31 次月繰越		61,000		
		300,000	300,000		
1	1 前月繰越	61,000		借	61,000

買掛金元帳

山添商店

平成×年	摘 要	借 方	貸 方	借または貸	残 高
12	1 前月繰越		29,000	貸	29,000
	7 仕 入 れ		128,000	〃	157,000
	13 仕 入 れ		104,000	〃	261,000
	16 戻 し	13,000		〃	248,000
	27 支 払 い	190,000		〃	58,000
	31 次月繰越	58,000			
		261,000	261,000		
1	1 前月繰越	261,000	58,000	貸	58,000

☆ 問題 2

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	貸倒引当金繰入	36,000	貸倒引当金	36,000
②	貸倒引当金 貸 倒 損 失	170,000 30,000	売 掛 金	200,000
③	現 金	90,000	償却債権取立益	90,000

☆ 問題 3

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	売 現 金	100,000	前 受 金	100,000
	買 前 払 金	100,000	当 座 預 金	100,000
	売 前 受 金	100,000	売 上	480,000
	現 金	380,000		
②	仕 入	500,000	前 払 金	100,000
	買		当 座 預 金	380,000
			現 金	20,000

☆ 問題 4

	借 方 科 目		金 額	貸 方 科 目	金 額
①	売	現 金	500,000	売 上	2,500,000
		売 掛 金	2,000,000		
	買	車 両	2,500,000	現 金	500,000
				未 払 金	2,000,000
②	売	現 金	250,000	売 掛 金	250,000
	買	未 払 金	250,000	当 座 預 金	250,000
③	売	未 収 金	18,000,000	土 地	18,000,000
	買	仕 入	18,000,000	買 掛 金	18,000,000
④	売	現 金	18,000,000	未 収 金	18,000,000
	買	買 掛 金	18,000,000	現 金	18,000,000

問題 5

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	保証債務見返	1,000,000	保 証 債 務	1,000,000
②	未 収 金	1,030,000	当 座 預 金	1,030,000
	保 証 債 務	1,000,000	保証債務見返	1,000,000

☆ 問題 6

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	売 掛 金	320,000	売 上	320,000
	立 替 金	5,000	当 座 預 金	5,000
②	従業員立替金	70,000	現 金	70,000
③	給 料	420,000	所得税預り金	90,000
			従業員立替金	70,000
			現 金	260,000

☆ 問題 7

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	当 座 預 金	480,000	仮 受 金	480,000
②	仮 受 金	480,000	売 掛 金	480,000
③	仮 払 金	220,000	現 金	220,000
④	旅 費	180,000	仮 払 金	220,000
	現 金	40,000		

☆問題 8

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	現 金	100,000	商 品 券	100,000
②	商 品 券	50,000	売 上	70,000
	他店商品券	10,000		
	現 金	10,000		
③	商 品 券	25,000	他店商品券	30,000
	現 金	5,000		

第 6 章 手形取引

☆問題 1 <振出人（ 秋山 ）商店の仕訳>

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	仕 入	600,000	当 座 預 金	200,000
			支 払 手 形	400,000
②	支 払 手 形	400,000	当 座 預 金	400,000

<名あて人（ 正岡 ）商店の仕訳>

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	現 金	200,000	売 上	600,000
	受 取 手 形	400,000		
②	当 座 預 金	400,000	受 取 手 形	400,000

[解 説] 約束手形については、振出人が手形債務（支払手形）を負い、名あて人が手形債権（受取手形）を有する。

☆問題 2 <振出人（ 芝 ）商店の仕訳>

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	仕 入	500,000	売 掛 金	500,000
②	仕 訳 な し			

<名あて人（ 秋山 ）商店の仕訳>

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	買 掛 金	500,000	支 払 手 形	500,000
②	支 払 手 形	500,000	当 座 預 金	500,000

<受取人（ 正岡 ）商店の仕訳>

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	受 取 手 形	500,000	売 上	500,000
②	当 座 預 金	500,000	受 取 手 形	500,000

[解 説] 為替手形については、名あて人が手形債務（支払手形）を引き受け、受取人が手形債権（受取手形）を有する。

② 通常、振出人は手形の決済時には関与しないため、振出人の仕訳は「仕訳なし」となる。

☆ 問題 3

① 受取手形記入帳

平成 ×年	摘 要	金 額	手形 種類	手形 番号	支払人	振出人 または 裏書人	振出 日	満 期 日	支払場所	て ん 末		
										月	日	摘 要
3	10	売り上げ	400,000	約手	11	秋山商店	秋山商店	3	10	4	30	入 金
4	14	売り上げ	500,000	為手	25	秋山商店	芝商店	4	14	5	31	入 金

② 支払手形記入帳

平成 ×年	摘 要	金 額	手形 種類	手形 番号	受取人	振出人	振出 日	満 期 日	支払場所	て ん 末		
										月	日	摘 要
3	10	仕入れ	400,000	約手	11	正岡商店	当 店	3	1	4	30	支払い
4	14	買掛金支払い	500,000	為手	25	正岡商店	芝商店	4	1	5	31	支払い

[解 説] 摘要欄には手形債権・債務の発生原因となった取引の概要を、てん末欄には手形債権・債務の消滅原因となった取引の概要をそれぞれ簡潔に記入する点に注意すること。

☆ 問題 4

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	熊谷商店	仕 入	400,000	支 払 手 形	400,000
	稲垣商店	受 取 手 形	400,000	売 上	400,000
②	武田商店	受 取 手 形	300,000	売 上	300,000
	藤松商店	仕 入	300,000	支 払 手 形	300,000

[解 説] ① 自己あて為替手形は、自分自身を名あて人（手形債務者）として振り出される為替手形である。よって、振出人である熊谷商店が稲垣商店に対して手形債務を負うことになる。

② 自己受為替手形は、自分自身を受取人（手形債権者）として振り出される為替手形であり、取引の相手方が名あて人（手形債務者）として手形を引き受ける。よって、振出人である武田商店が藤松商店に対して手形債権を有することになる。

☆ 問題 5

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	裏 書 人 (稲生)商店	仕 入	700,000	前 払 金	200,000
	被裏書人 (佐久間)商店	前 受 金 受 取 手 形	200,000 500,000	受 取 手 形 売 上	500,000 700,000
②	裏 書 人 (稲生)商店	仕 訳 な し			
	被裏書人 (佐久間)商店	当 座 預 金	500,000	受 取 手 形	500,000
③		当 座 預 金 手形売却損	498,500 1,500	受 取 手 形	500,000

【解 説】 手形の裏書譲渡や割引を行った場合には、自己の有する手形債権（受取手形）を譲渡することになるため、①の稲生商店および③の大原商会の仕訳の貸方は受取手形となる。また、裏書人は手形の決済には直接関与しないため、②の稲生商店は「仕訳なし」となる。

問題 6

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	当 座 預 金	396,000	受 取 手 形	400,000
	手形売却損	4,000		
	保証債務費用	8,000	保 証 債 務	8,000
②	不 渡 手 形	401,500	当 座 預 金	400,500
			現 金	1,000
	保 証 債 務	8,000	保証債務取崩益	8,000
③	貸 倒 損 失	41,500	不 渡 手 形	41,500

【解 説】 手形の裏書や割引の問題で保証債務の時価について指示がある場合には、保証債務の会計処理を行う。

- ① 保証債務は本問のように手形の裏書や割引を行った時に発生を認識する。なお、本問では割引料を計算する必要があるが、 $\text{¥}400,000 \times 7.3\% \times 50 \text{日} / 365 \text{日} = \text{¥}4,000$ ということに利息に準じて日割りで計算すればよい。
- ② 保証債務は手形が決済されたり本問のように不渡りになった時に消滅を認識する。

☆ 問題 7

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	人見商店	支 払 手 形	500,000	支 払 手 形	500,500
		支 払 利 息	500		
	花田商店	受 取 手 形	500,500	受 取 手 形	500,000
				受 取 利 息	500
②	成田商店	手形貸付金	100,000	当 座 預 金	99,000
				受 取 利 息	1,000
	林商店	当 座 預 金	99,000	手形借入金	100,000
		支 払 利 息	1,000		

[解 説] ① 新しく振り出す手形金額に利息を加える処理を問う問題では、貸借いずれに新旧の手形を記入するかを十分に確認するよう注意する。人見商店は貸方に新手形を、花田商店は借方に新手形を記入する。

第7章 有価証券

☆問題1

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	売買目的有価証券	950,000	当座預金	950,000
②	売買目的有価証券	490,000	当座預金	490,000
③	現金	500,000	売買目的有価証券 有価証券売却益	480,000 20,000
④	当座預金	50,000	受取配当金	50,000
⑤	売買目的有価証券	30,000	有価証券評価益	30,000

[解 説] ① 有価証券の取得原価には付随費用を含めるため、 $@¥940 \times 1,000株 + ¥10,000 = ¥950,000$ 。
 ② 取得原価は $@¥970 \times 500株 + ¥5,000 = ¥490,000$ となる。
 ③ 移動平均法により帳簿価額を計算しているため、売却された株式の帳簿価額は1株当たり $(¥950,000 + ¥490,000) / (1,000株 + 500株) = @¥960$ となり、売却された株式の帳簿価額の総額は $@¥960 \times 500株 = ¥480,000$ となる。
 ⑤ 売買目的有価証券は決算時に時価により評価替えがなされるが、本問では先に計算した1株当たりの帳簿価額 $@¥960$ と1株当たりの時価 $@¥990$ から、 $(@¥990 - ¥960) \times 1,000株 = ¥30,000$ が有価証券評価益となる。

問題2

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	有価証券評価益	30,000	売買目的有価証券	30,000
②	仕訳なし			

[解 説] ① 洗替法では、期末（決算日）の評価替えを取り消すために、翌期首（決算日の翌日）に決算日に行った仕訳の反対仕訳（貸借を入れ替えた仕訳）を行う。これにより、決算日にいったん時価で評価替えされても、翌期首には決算日以前の帳簿価額に戻されることになる。
 ② 切放し法では、洗替法のような処理をせず、期末に評価替えした金額を新たな帳簿価額とする。

問題3

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	満期保有目的債券	188,000	当座預金	188,000
②	当座預金	500	有価証券利息	500
	満期保有目的債券	1,000	有価証券利息	1,000

[解 説] 公社債については、額面¥100を1口として、1口当たりの購入価額などが資料とし

て与えられることが多い。

- ① 額面¥100に対して¥94で社債を購入しているため、購入価額は $\text{¥}200,000 \div \text{¥}100 \times \text{¥}94 = \text{¥}188,000$ となる。付随費用に関する指示はないため、これが取得原価となる。
- ② 満期保有目的債券の債券金額（額面金額）と取得価額の差額の性格が金利の調整と認められるときには、決算日に償却原価法により評価替えが行われる。本問のように購入から決算日まで1年に満たない場合には $(\text{¥}200,000 - \text{¥}188,000) \times 3 \text{ カ月} \div 36 \text{ カ月} = \text{¥}1,000$ というように月割りで計算する。なお、利息の計算は額面金額に対して計算し、 $\text{¥}200,000 \times 1\% \times 3 \text{ カ月} \div 12 \text{ カ月} = \text{¥}500$ となる。

問題 4

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	売買目的有価証券	98,000	現 金	98,800
	有価証券利息	800		
②	現 金	3,650	有価証券利息	3,650

【解 説】 ① 端数利息は、通常、日割りにより計算する。本問では、直前の利払日は6月30日、売買日は8月9日であるから、この間の日数は $31 \text{ 日} + 9 \text{ 日} = 40 \text{ 日}$ となり、端数利息は $\text{¥}100,000 \times 7.3\% \times 40 \text{ 日} \div 365 \text{ 日} = \text{¥}800$ となる。

問題 5

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	山地商店	現 金	200,000	借 入 金	200,000
		差入有価証券	220,000	売買目的有価証券	220,000
	明石商店	貸 付 金	200,000	現 金	200,000
		保管有価証券	200,000	預り有価証券	200,000
②	山地商店	借 入 金	200,000	現 金	200,000
		売買目的有価証券	220,000	差入有価証券	220,000
	明石商店	現 金	200,000	貸 付 金	200,000
		預り有価証券	200,000	保管有価証券	200,000
③	豊島商店	貸付有価証券	120,000	売買目的有価証券	120,000
	大庭商店	保管有価証券	150,000	借入有価証券	150,000
④	豊島商店	売買目的有価証券	120,000	貸付有価証券	120,000
	大庭商店	借入有価証券	150,000	保管有価証券	150,000

【解 説】 有価証券の差入れ・預かりあるいは貸借については、差入れ側および貸付側は簿価で処理するのに対し、預かり側および借入側は時価で処理する点に注意してほしい。

第8章 有形固定資産

☆ 問題 1

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	建 物	1,000,000	当座預金	950,000
			現 金	50,000
②	減価償却費	30,000	減価償却累計額	30,000
③	減価償却累計額	30,000	建 物	1,000,000
	減価償却費	15,000		
	未 収 金	900,000		
	固定資産売却損	55,000		

- [解 説] ① 有形固定資産の取得原価は購入代価に付随費用を加えた金額となる。
- ② 定額法により計算するため、 $(¥1,000,000 - 1,000,000 \times 10\%) / 30年 = ¥30,000$ となる。なお、電卓で計算する際には、 $¥1,000,000 \times 0.9 / 30年 = ¥30,000$ と計算すると簡潔に計算できる。
- ③ 期中に売却しているため、期首から売却時までの減価償却費 $(¥1,000,000 - 1,000,000 \times 10\%) / 30年 \times 6カ月 / 12カ月 = ¥15,000$ を計上しなければならない。なお、商品以外についての代金の未収は未収金勘定で処理する。

問題 2

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	備 品	150,000	当座預金	130,000
			現 金	20,000
②	減価償却費	30,000	減価償却累計額	30,000
③	備 品	200,000	備 品	150,000
	減価償却累計額	30,000	当座預金	100,000
	減価償却費	12,000		
	固定資産売却損	8,000		

- [解 説] ③ 期中に買い換えているため、期首から買い替え時までの減価償却費 $(¥150,000 - 30,000) \times 20\% \times 6カ月 / 12カ月 = ¥12,000$ を計上しなければならない。また、買い換え時の旧備品の帳簿価額は、取得原価から減価償却累計額と当期の減価償却費を控除した $¥150,000 - 30,000 - 12,000 = ¥108,000$ となるため、下取価額との差額 $¥100,000 - 108,000 = -¥8,000$ が固定資産売却損となる。

問題 3

借方科目	金額	貸方科目	金額
貯 蔵 品	100,000	備 品	150,000
減価償却累計額	30,000		
減価償却費	12,000		
固定資産売却損	8,000		

- [解 説] 除却後保存する場合には、除却資産を処分価額で貯蔵品勘定に振り替え、貸借差額は固

定資産除却損として処理する。その他の計算は「問題2」と同様である。

問題4

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	建設仮勘定	100,000	当座預金	100,000
②	備品	600,000	建設仮勘定	100,000
			当座預金	500,000
③	減価償却費	90,000	減価償却累計額	90,000
④	減価償却累計額	90,000	備品	600,000
	減価償却費	18,000		
	固定資産廃棄損	492,000		

- [解 説] ① 固定資産の建設や製作にともなう前払いなどは建設仮勘定で処理する。
- ③ 当期の減価償却費は $(¥600,000 - ¥600,000 \times 10\%) \times 500 \text{万ト} \div 3,000 \text{万ト} = ¥90,000$ となる。
- ④ 期中に廃棄しているため、期首から廃棄時までの減価償却費 $(¥600,000 - ¥600,000 \times 10\%) \times 100 \text{万ト} \div 3,000 \text{万ト} = ¥18,000$ を計上しなければならない。貸借差額は固定資産廃棄損として処理する。

問題5

借方科目	金額	貸方科目	金額
建物	280,000	現金	400,000
修繕費	120,000		

- [解 説] 修繕と改良が同時に行われている場合には、金額を按分し処理する。

問題6

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	減価償却累計額	1,080,000	建物	2,000,000
	減価償却費	30,000		
	火災未決算	890,000		
②	未収金	1,000,000	火災未決算	890,000
			保険差益	110,000
③	当座預金	1,000,000	未収金	1,000,000

- [解 説] ① 取得から前期末までに18年が経過しているため、減価償却累計額は $(¥2,000,000 - 2,000,000 \times 10\%) \div 30 \text{年} \times 18 \text{年} = ¥1,080,000$ となる。また、当期首から火災までの減価償却費は、 $(¥2,000,000 - 2,000,000 \times 10\%) \div 30 \text{年} \times 6 \text{カ月} \div 12 \text{カ月} = ¥30,000$ である。なお、保険金が確定していないため、貸借差額は火災未決算とする。
- ② 保険金が火災未決算を超えているため、貸借差額は保険差益として処理する。保険金が火災未決算を下回っている時には火災損失として処理する。

第9章 無形固定資産と繰延資産

問題 1

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	意匠権	300,000	当座預金	300,000
②	意匠権償却	15,000	意匠権	15,000
③	鉱業権	1,000,000	未払金	1,000,000
④	鉱業権償却	50,000	鉱業権	50,000

[解 説] 無形固定資産の償却は、一般に定額法により行われるが、鉱業権については生産高比例法により行われることがある。償却の方法などについては、通常は問題文の指示に従えばよい。④の償却額の計算は、 $\text{¥}1,000,000 \times 10\text{万トン} / 200\text{万トン} = \text{¥}50,000$ となる。

問題 2

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	諸資産 のれん	5,300,000 200,000	諸負債 当座預金	3,000,000 2,500,000
②	のれん償却	10,000	のれん	10,000

[解 説] のれんは事業の買収や会社の合併の際に認識される。のれんが借方にあらわれた場合には、認識された会計期間の費用もしくは無形固定資産として計上される。のれんを無形固定資産に計上した場合には、制度上は20年以内に定額法その他合理的な方法により償却するものとされるが、問題を解答する上では問題文の指示に従えばよい。なお、事業の買収にあたっての処理は、解答のように引き継いだ資産・負債を時価で記入し、対価として支出した金額との差額をのれんとすればよい。

問題 3

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	開発費	500,000	現金	500,000
②	開発費償却	100,000	開発費	100,000

[解 説] 繰延資産の償却方法などについても、通常は問題文の指示に従えばよいが、制度上償却の最長期間が定められているため、念のため覚えておいた方がよいであろう。

第10章 引当金と社債

問題 1

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	修繕引当金繰入	150,000	修繕引当金	150,000
②	修繕引当金	150,000	修繕引当金戻入	150,000
③	賞与引当金繰入	200,000	賞与引当金	200,000
④	賞与引当金 賞与	200,000 250,000	当座預金	450,000
⑤	退職給付費用	300,000	退職給付引当金	300,000

[解 説] 一般に負債性引当金の繰入時の借方科目は〇〇引当金繰入となるが、退職給付引当金の繰入時のみ退職給付費用となるので注意してほしい。

問題 2

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	当 座 預 金	1,000,000	社 債	1,000,000
	社債発行費	30,000	当 座 預 金	30,000
②	社 債 利 息	5,000	当 座 預 金	5,000
	社債発行費償却	10,000	社債発行費	10,000
③	社 債	1,000,000	当 座 預 金	1,000,000

[解 説] ① 社債発行のための諸費用は社債発行費として繰延資産とすることが認められている。

② 利払日の利息の計算は、利払日が年 2 回である点に注意して 6 カ月分 $\text{¥}1,000,000 \times 1\% \times 6 \text{ カ月} / 12 \text{ カ月} = \text{¥}5,000$ となる。社債発行費は、社債の発行から償還までの期間内にわたり均等額以上を償却することとされているため、本問では 3 年間にわたり定額法で償却することになる。

問題 3

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	当 座 預 金	940,000	社 債	940,000
②	社 債 利 息	5,000	当 座 預 金	5,000
	社 債 利 息	20,000	社 債	20,000
③	社 債 利 息	5,000	当 座 預 金	5,000
	社 債 利 息	20,000	社 債	20,000
	社 債	1,000,000	当 座 預 金	1,000,000

[解 説] ① 社債の発行金額は $\text{¥}1,000,000 \times @\text{¥}94 / @\text{¥}100 = \text{¥}940,000$ となる。

② ③ 決算日に償却原価法を適用するため、発行価額と額面金額の差額を定額法によって償却し、償却額は $(\text{¥}1,000,000 - 940,000) \times 12 \text{ カ月} / 36 \text{ カ月} = \text{¥}200,000$ となる。なお、本問は単純化のため社債発行費は無視している。

問題 4

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	当 座 預 金	950,000	社 債	950,000
②	社 債 利 息	10,000	社 債	10,000
③	社 債 利 息	5,000	社 債	5,000
	社 債	965,000	当 座 預 金	970,000
	社債償還損	5,000		
③ 別 解	社 債	960,000	当 座 預 金	970,000
	社 債 利 息	5,000		
	社債償還損	5,000		

[解 説] ① 社債の発行金額は $\text{¥}1,000,000 \times @\text{¥}95 / @\text{¥}100 = \text{¥}950,000$ となる。

② 償却原価法による償却額は $(\text{¥}1,000,000 - \text{¥}950,000) \times 12 \text{ カ月} / 60 \text{ カ月} = \text{¥}10,000$ となる。

- ③ 買入償還時の償却原価法による償却額は、月割りによって $(¥1,000,000 - ¥950,000) \times 6 \text{ カ月} / 60 \text{ カ月} = ¥5,000$ となる。また、社債の買入金額は $¥1,000,000 \times @¥97 / @¥100 = ¥970,000$ であるため、貸借差額により社債償還損が求められる。なお、買入償還時の償却原価法の仕訳と償還の仕訳を併せて行くと別解となる。

問題 5

	借方科目	金額	貸方科目	金額
	社債利息	5,000	社債	5,000
	社債	965,000	当座預金	960,000
			社債償還益	5,000
別	社債	960,000	当座預金	960,000
解	社債利息	5,000	社債償還益	5,000

[解 説] 社債の買入金額は $¥1,000,000 \times @¥96 / @¥100 = ¥960,000$ であるため、貸借差額により社債償還益が ¥5,000 となる。

第11章 純資産

☆ 問題 1 <資本金勘定のみを使う場合>

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	現金	500,000	資本金	500,000
②	資本金	50,000	現金	50,000
③	資本金	20,000	仕入	20,000
④	現金	60,000	資本金	60,000
⑤	支払家賃	18,000	当座預金	30,000
	資本金	12,000		
⑥	損益	150,000	資本金	150,000

<引出金勘定を使う場合>

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	現金	500,000	資本金	500,000
②	引出金	50,000	現金	50,000
③	引出金	20,000	仕入	20,000
④	現金	60,000	引出金	60,000
⑤	支払家賃	18,000	当座預金	30,000
	引出金	12,000		
⑥	資本金	22,000	引出金	22,000
	損益	150,000	資本金	150,000

[解 説] ① いずれの方法でも元入れは資本金勘定により処理する。

② ③ ⑤ 店主の私用による資産の減少や負債の増加はすべて資本の引き出しとなる。

⑤では支払った家賃のうち、店主個人の使用に帰属する部分 $\text{¥}30,000 \times 40\% = \text{¥}12,000$ が資本の引き出しとなる。

問題 2

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	当 座 預 金	10,000,000	資 本 金	5,000,000
			資本準備金	5,000,000
	創 立 費	100,000	当 座 預 金	100,000
②	創立費償却	20,000	創 立 費	20,000

[解 説] ① 設立時の株式発行にともなう資本金組入れ額は、払込金額の $1/2$ 以上であればよい
ため、最低限度額は払込金額の $1/2$ となる。なお、定款作成費や株式の発行費
用などについては創立費として処理し、繰延資産とすることができる。

② 創立費の償却は5年以内の期間にわたり定額法により行うため、償却額は $\text{¥}100,000 / 5 \text{年} = \text{¥}20,000$ となる。

問題 3

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	別 段 預 金	5,000,000	株式申込証拠金	5,000,000
②	株式交付費	50,000	当 座 預 金	50,000
③	株式申込証拠金	5,000,000	資 本 金	2,500,000
			資本準備金	2,500,000

[解 説] ① 新株募集にともなう払込金は払込期日に増資手続きを行うまでは株式申込証拠金と
して処理する。

② 新株募集のための諸費用や証券会社に対する手数料などについては株式交付費とし
て処理し、繰延資産とすることができる。

③ 新株発行にともなう資本金組入れ額も、払込金額の $1/2$ 以上であればよい
ため、最低限度額は払込金額の $1/2$ となる。

問題 4

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	諸 資 産	3,200,000	諸 負 債	2,250,000
	の れ ん	50,000	資 本 金	500,000
			資本準備金	400,000
			その他資本剰余金	100,000
②	のれん償却	2,500	の れ ん	2,500

[解 説] ① 合併に際して受け入れた資産・負債の時価による差額は $\text{¥}3,200,000 - 2,250,000 = \text{¥}950,000$ である。一方、合併の対価は交付した株式の時価総額@ $\text{¥}2,000 \times 500 \text{株} = \text{¥}1,000,000$ である。したがって、この差額 $\text{¥}950,000 - 1,000,000 = -\text{¥}50,000$ がのれんとなる。また、株式の時価総額 $\text{¥}1,000,000$ を新株発行の払込額とみなし
株主資本の増加額となるが、資本金と資本準備金に組み入れなかった金額はその他
資本剰余金とする。

- ② 制度上認められた最長期間（20年）で定額法によるため、償却額は $\text{¥}50,000 / 20 \text{ 年} = \text{¥}2,500$ となる。

問題 5

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	損 益	300,000	繰越利益剰余金	300,000
②	繰越利益剰余金	260,000	未払配当金	100,000
			利益準備金	10,000
			新築積立金	100,000
			別途積立金	50,000
③	未払配当金	100,000	当 座 預 金	100,000

- [解 説] ① 株式会社では、当期純利益（純損失）は繰越利益剰余金勘定に振り替える。
 ② 配当金額の $1/10$ と資本金の $1/4$ と法定準備金合計の差額のいずれか小さい方の金額が利益準備金として積み立てられる。本問では、以下の計算により $\text{¥}10,000$ が利益準備金の積立額となる。

$$\begin{aligned} \text{¥}100,000 \times 1/10 &= \text{¥}10,000 < \text{¥}2,500,000 \times 1/4 - (\text{¥}350,000 + \text{¥}200,000) \\ &= \text{¥}75,000 \end{aligned}$$

問題 6

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
繰越利益剰余金	255,000	未払配当金	100,000
		利益準備金	5,000
		新築積立金	100,000
		別途積立金	50,000

- [解 説] 本問では、以下の計算により $\text{¥}5,000$ が利益準備金の積立額となる。
 $\text{¥}100,000 \times 1/10 = \text{¥}10,000 > \text{¥}2,500,000 \times 1/4 - (\text{¥}350,000 + 270,000) = \text{¥}5,000$

問題 7

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	繰越利益剰余金	300,000	損 益	300,000
②	別途積立金	150,000	繰越利益剰余金	350,000
	利益準備金	200,000		

- [解 説] 任意積立金や法定準備金の取り崩しは株主総会あるいは取締役会の決議により比較的自由に行われる。したがって、解答上は問題の指示に従えばよい。

第12章 税 金

☆ 問題 1

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	租 税 公 課 引 出 金	550,000 100,000	現 金	650,000
②	通 信 費 租 税 公 課	15,000 35,000	現 金	50,000
③	引 出 金	280,000	現 金	280,000
④	租 税 公 課	370,000	現 金	370,000
⑤	引 出 金	400,000	現 金	400,000
⑥	引 出 金	380,000	現 金	380,000

問題 2

①	×	④	×
②	○	⑤	○
③	×	⑥	○

問題 3

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	仮払法人税等	2,060,000	当座預金	2,060,000
②	法 人 税 等	4,430,000	仮払法人税等 未払法人税等	2,060,000 2,370,000
③	未払法人税等	2,370,000	当座預金	2,370,000

問題 4

[税抜方式]

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	仕 入 仮払消費税	2,000,000 100,000	当座預金	2,100,000
②	現 金	2,415,000	売 上 仮受消費税	2,300,000 115,000
③	仮受消費税	115,000	仮払消費税 未払消費税	100,000 15,000
④	未払消費税	15,000	当座預金	15,000

[税込方式]

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	仕 入	2,100,000	当座預金	2,100,000
②	現 金	2,415,000	売 上	2,415,000
③	租 税 公 課	15,000	未払消費税	15,000
④	未払消費税	15,000	当座預金	15,000

第13章 決 算

☆ 問題 1 (1)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	仕 入	9,700	繰 越 商 品	9,700
	繰 越 商 品	9,000	仕 入	9,000
②	貸倒引当金繰入	130	貸倒引当金	130
③	減価償却費	9,000	備品減価償却累計額	9,000
④	前払保険料	1,500	保 險 料	1,500
⑤	支 払 利 息	100	未 払 利 息	100

(2)

精 算 表

勘 定 科 目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	9,940						9,940	
当 座 預 金	12,200						12,200	
売 掛 金	10,000						10,000	
繰 越 商 品	9,700		9,000	9,700			9,000	
備 品	50,000						50,000	
買 掛 金		9,670						9,670
長 期 借 入 金		20,000						20,000
貸 倒 引 当 金		70		130				200
備品減価償却累計額		9,000		9,000				18,000
資 本 金		40,000						40,000
売 上		88,400				88,400		
仕 入	43,500		9,700	9,000	44,200			
給 料	18,300				18,300			
保 險 料	6,000			1,500	4,500			
支 払 家 賃	7,200				7,200			
支 払 利 息	300		100		400			
	167,140	167,140						
貸倒引当金繰入			130		130			
減 価 償 却 費			9,000		9,000			
前 払 保 險 料			1,500				1,500	
未 払 利 息				100				100
当 期 純 利 益					4,670			4,670
			29,430	29,430	88,400	88,400	92,640	92,640

(3)

① 収益・費用の各勘定の残高を損益勘定に振り替える決算振替仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額
売上	88,400	損益	88,400
損益	83,730	仕入	44,200
		給料	18,300
		保険料	4,500
		支払家賃	7,200
		支払利息	400
		貸倒引当金繰入	130
		減価償却費	9,000

② 当期純利益を資本金勘定に振り替える決算振替仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額
損益	4,670	資本金	4,670

貸借対照表

資産	金額	負債および純資産	金額
流動資産		流動負債	
現金	9,940	買掛金	9,670
当座預金	12,200	未払利息	100
売掛金	10,000	流動負債合計	9,770
貸倒引当金	200	固定負債	
商品	9,000	長期借入金	20,000
前払保険料	1,500	固定負債合計	20,000
流動資産合計	42,440	負債合計	29,770
固定資産		純資産	
備品	50,000	資本金	40,000
減価償却累計額	18,000	当期純利益	4,670
固定資産合計	32,000	純資産合計	44,670
資産合計	74,440	負債および純資産合計	74,440

損 益 計 算 書

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品たな卸高	9,700	売上高	88,400
当期商品仕入高	43,500	期末商品たな卸高	9,000
売上総利益	44,200		
	97,400		97,400
給 料	18,300	売上総利益	44,200
保険料	4,500		
支払家賃	7,200		
減価償却費	9,000		
貸倒引当金繰入	130		
支払利息	400		
当期純利益	4,670		
	44,200		44,200

問題 2

(1)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	買 掛 金	1,000	現金過不足	1,220
	雑 損	220		
②	仕 入	54,000	繰 越 商 品	54,000
	繰 越 商 品	56,000	仕 入	56,000
	棚卸減耗費	500	繰 越 商 品	500
	商品評価損	1,110	繰 越 商 品	1,110
③	貸倒引当金	120	貸倒引当金戻入	120
	貸倒引当金繰入	800	貸倒引当金	800
④	有価証券評価損	7,000	売買目的有価証券	7,000
⑤	満期保有目的債券	375	有価証券利息	375
	未 収 利 息	250	有価証券利息	250
⑥	社 債 利 息	500	社 債	500
	社 債 利 息	1,000	未 払 利 息	1,000
	社債発行費償却	600	社債発行費	600
⑦	減価償却費	36,000	備品減価償却累計額	36,000
⑧	前 払 家 賃	6,000	支 払 家 賃	6,000
⑨	消 耗 品	800	消 耗 品 費	800

(2)

精 算 表

勘 定 科 目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	36,200						36,200	
現 金 過 不 足	1,220			1,220				
当 座 預 金	80,800						80,800	
売 掛 金	40,000						40,000	
売買目的有価証券	200,000			7,000			193,000	
満期保有目的債券	47,500		375				47,875	
繰 越 商 品	54,000		56,000	54,000			54,390	
				500				
				1,110				
備 品	200,000						200,000	
社 債 発 行 費	7,200			600			6,600	
買 掛 金		34,000	1,000					33,000
長 期 借 入 金		100,000						100,000
社 債		194,000		500				194,500
貸 倒 引 当 金		120	120	800				800
備品減価償却累計額		72,000		36,000				108,000
資 本 金		150,000						150,000
利 益 準 備 金		30,000						30,000
繰越利益剰余金		21,600						21,600
売 上		309,620				309,620		
受 取 配 当 金		1,250				1,250		
有 価 証 券 利 息		500		375		1,125		
				250				
仕 入	157,320		54,000	56,000	155,320			
給 料	42,500				42,500			
保 險 料	12,000				12,000			
消 耗 品 費	3,100			800	2,300			
支 払 家 賃	30,000			6,000	24,000			
支 払 利 息	1,250				1,250			
	913,090	913,090						
雑 損			220		220			
棚 卸 減 耗 費			500		500			
商 品 評 価 損			1,110		1,110			
貸倒引当金戻入				120		120		
貸倒引当金繰入			800		800			
有価証券評価損			7,000		7,000			
未 収 利 息			250				250	
社 債 利 息			500		1,500			
			1,000					
未 払 利 息				1,000				1,000
社債発行費償却			600		600			
減 価 償 却 費			36,000		36,000			
前 払 家 賃			6,000				6,000	
消 耗 品			800				800	
当 期 純 利 益					27,015			27,015
			166,275	166,275	312,115	312,115	665,915	665,915

(3)

① 収益・費用の各勘定の残高を損益勘定に振り替える決算振替仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額
売上	309,620	損益	312,115
受取配当金	1,250		
有価証券利息	1,125		
貸倒引当金戻入	120		
損益	285,100	仕入	155,320
		給料	42,500
		保険料	12,000
		消耗品費	2,300
		支払家賃	24,000
		支払利息	1,250
		雑損	220
		棚卸減耗費	500
		商品評価損	1,110
		貸倒引当金繰入	800
		有価証券評価損	7,000
		社債利息	1,500
		社債発行費償却	600
		減価償却費	36,000

② 当期純利益を繰越利益剰余金勘定に振り替える決算振替仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額
損益	27,015	繰越利益剰余金	27,015

貸借対照表

資産	金額	負債および純資産	金額
流動資産		流動負債	
現金	36,200	買掛金	33,000
当座預金	80,800	未払利息	1,000
売掛金 40,000		流動負債合計	34,000
貸倒引当金 800	39,200	固定負債	
有価証券	240,875	長期借入金	100,000
商品	54,390	社債	194,500
消耗品	800	固定負債合計	294,500
未収利息	250	負債合計	328,500
前払家賃	6,000	純資産	
流動資産合計	458,515	資本金	150,000
固定資産		利益剰余金	
備品 200,000		利益準備金	30,000
減価償却累計額 108,000	92,000	繰越利益剰余金	48,615
固定資産合計	92,000	純資産合計	228,615
繰延資産			
社債発行費	6,600		
繰延資産合計	6,600		
資産合計	557,115	負債および純資産合計	557,115

損 益 計 算 書

費 用	金 額	収 益	金 額
期 首 商 品 た な 卸 高	54,000	売 上 高	309,620
当 期 商 品 仕 入 高	157,320	期 末 商 品 た な 卸 高	54,390
売 上 総 利 益	152,690		
	364,010		364,010
給 料	42,500	売 上 総 利 益	152,690
消 耗 品 費	2,300		
保 險 料	12,000		
支 払 家 賃	24,000		
減 価 償 却 費	36,000		
貸 倒 引 当 金 繰 入	800		
営 業 利 益	35,090		152,690
	152,690		
支 払 利 息	1,250	営 業 利 益	35,090
社 債 利 息	1,500	受 取 配 当 金	1,250
有 価 証 券 評 価 損	7,000	有 価 証 券 利 息	1,125
社 債 発 行 費 償 却	600		
経 常 利 益	27,115		
	37,465		37,465
雑 損	220	経 常 利 益	27,115
当 期 純 利 益	27,015	貸 倒 引 当 金 戻 入	120
	27,235		27,235

第14章 伝 票

☆ 問題 1

①	<div><div><u>入金伝票</u></div><div>売掛金 100,000 (青森商店)</div></div>	②	<div><div><u>出金伝票</u></div><div>買掛金 80,000 (秋田商店)</div></div>
③	<div><div>(借方)</div><div><u>振替伝票</u></div><div>買掛金 120,000 (岩手商店)</div></div>	<div><div><u>振替伝票</u></div><div>(貸方)</div><div>当座預金 120,000</div></div>	

☆ 問題 2

① 取引を擬制する方法

<u>出金伝票</u>		
給	料	500,000

<u>入金伝票</u>	
所得税預り金	20,000

② 取引を分解する方法

<u>出金伝票</u>		
給	料	480,000

(借方)	<u>振替伝票</u>			<u>振替伝票</u>	(貸方)
	給	料	20,000	所得税預り金	20,000

☆ 問題 3

①

<u>売上伝票</u>		
売	掛	金 100,000
(愛媛商店)		

②

<u>売上伝票</u>		
売	掛	金 30,000
(愛媛商店)		

③

<u>仕入伝票</u>		
買	掛	金 80,000
(香川商店)		

④

<u>仕入伝票</u>		
買	掛	金 10,000
(香川商店)		

(注) 太字は赤字での記入をあらわす。

問題 4

仕 訳 集 計 表

平成×年 9 月 12 日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
330,000	現 金	380,000
	当 座 預 金	212,000
	売 買 目 的 有 価 証 券	135,000
155,000	受 取 手 形	90,000
260,000	売 掛 金	240,000
130,000	未 収 金	
212,000	備 品	
200,000	買 掛 金	170,000
	売 上	415,000
170,000	仕 入	
180,000	給 料	
5,000	有 価 証 券 売 却 損	
1,642,000		1,642,000

問題 5

仕 訳 集 計 表

平成×年 6 月 1 日

借 方	元 丁	勘 定 科 目	元 丁	貸 方
515,000	1	現 金	1	505,000
		当 座 預 金		380,000
		受 取 手 形		60,000
385,000	4	売 掛 金	4	315,000
300,000		備 品		
65,000		支 払 手 形		120,000
490,000		買 掛 金		430,000
		借 入 金		300,000
50,000		売 上		385,000
430,000		仕 入		70,000
250,000		給 料		
80,000		支 払 家 賃		
2,565,000				2,565,000

総勘定元帳

現金			1			売掛金			4		
6/ 1 前月繰越	396,000		6/ 1 仕訳集計表	505,000		6/ 1 前月繰越	612,000		6/ 1 仕訳集計表	315,000	
〃 仕訳集計表	515,000					〃 仕訳集計表	385,000				

売掛金元帳

滋 賀 商 店				新 潟 商 店			
		売1				売2	
6/ 1 前月繰越	335,000	6/ 1 入金伝票	75,000	6/ 1 前月繰越	277,000	6/ 1 入金伝票	80,000
〃 売上伝票	165,000	〃 売上伝票	50,000	〃 売上伝票	220,000	〃 振替伝票	110,000

買掛金元帳

石 川 商 店			富 山 商 店				
買1			買2				
6/ 1 出金伝票	100,000	6/ 1 前月繰越	245,000	6/ 1 出金伝票	90,000	6/ 1 前月繰越	278,000
〃 振替伝票	110,000	〃 仕入伝票	180,000	〃 仕入伝票	70,000	〃 仕入伝票	250,000
				〃 振替伝票	120,000		

第15章 帳簿組織

問題 1

当座預金出納帳

1

平成 ×年	勘定科目	摘要	元 丁	売掛金	諸口	平成 ×年	勘定科目	摘要	元 丁	買掛金	諸口
4 14	売掛金	奈良商店	売1	65,000		4 2	買掛金	滋賀商店	買1	30,000	
17	受取手形	兵庫商店	3		40,000	7	支払手形	大阪商店	11		20,000
24	売掛金	奈良商店	売1	30,000		19	現金	引き出し	1		50,000
		売掛金	4	95,000	95,000			買掛金	12	30,000	30,000
		当座預金	2		135,000			当座預金	2		100,000
		前月繰越	✓		80,000			次月繰越	✓		115,000
					215,000						215,000

(注) 太字は赤字での記入をあらわす。

総勘定元帳

当 座 預 金			2			売 掛 金			4		
4/ 1 前月繰越	80,000	4/30 当座預金出納帳	100,000	4/ 1 前月繰越	×××	4/30 当座預金出納帳	95,000				
4/30 当座預金出納帳	135,000										

買 掛 金			12
4/30 当座預金出納帳	30,000	4/ 1 前月繰越	×××

売掛金元帳

奈良商店			1
4/ 1 前月繰越	×××	4/14 当座預金出納帳	65,000
		4/24 当座預金出納帳	30,000

買掛金元帳

滋 賀 商 店				1
4/ 2 当座預金出納帳	30,000	4/ 1 前月繰越	×	×

問題 2

売 上 帳

1

平成 ×年	勘定科目	摘 要	元 丁	売掛金	諸 口
5	12 受取手形	山口商店	約束手形	3	70,000
	18 売 掛 金	島根商店	掛 け	売 1	80,000
	23 売 掛 金	広島商店	掛 け	売 2	40,000
	24 売 掛 金	広島商店	返 品	売 2	2,000
			掛売上高	4	120,000
			総売上高	41	190,000
			売上戻り高	4/41	2,000
			純売上高		188,000

(注) 太字は赤字での記入をあらわす。

総 勘 定 元 帳

売 掛 金		4	売 上		41
5/ 1 前月繰越	×××	5/31 売上帳	2,000	5/31 売上帳	190,000
5/31 売上帳	120,000				

売 掛 金 元 帳

島 根 商 店			1			
5/ 1 前月繰越	×××		5/ 1 前月繰越	×××	5/24 売上帳	2,000
5/18 売上帳	80,000		5/23 売上帳	40,000		

問題 3

	現 金 出納帳	当座預金 出納帳	売上帳	仕入帳	普 通 仕訳帳	売掛金 元 帳	買掛金 元 帳	受取手形 記入帳	支払手形 記入帳
①	○	○							
②	○		○			○			
③				○			○		○
④					○	○		○	
⑤				○		○	○		
⑥		○			○			○	
⑦		○			○				

問題 4

当座預金出納帳

1

平成 ×年	勘定科目	摘 要	元 丁	売掛金	諸 口	平成 ×年	勘定科目	摘 要	元 丁	買掛金	諸 口
6	6	売 掛 金	山梨商店	売2	22,000	6	11	買 掛 金	和歌山商店	買1	19,000
16		現 金	預け入れ	1		14		買 掛 金	長野商店	買2	24,000
22		売 掛 金	岐阜商店	売1	23,000	15		仕 入	富山商店	✓	21,000
30		売 上	岐阜商店	✓		20		給 料	6 月 分	36	36,000
			売 掛 金	4	45,000				買 掛 金	12	43,000
			当座預金	2					当座預金	2	100,000
			前月繰越	✓					次月繰越	✓	67,000
					167,000						167,000

売 上 帳

1

平成 ×年		勘定科目	摘 要		元 丁	売掛金	諸 口	
6	2	売 掛 金	山 梨 商 店	掛 け	売 2	35,000		
	3	売 掛 金	山 梨 商 店	返 品	売 2	3,000		
	27	受 取 手 形	静 岡 商 店		3			39,000
	30	当 座 預 金	岐 阜 商 店	当座預金	✓			10,000
		売 掛 金	岐 阜 商 店	掛 け	売 1			9,000
				掛売上高	4	35,000		35,000
				総売上高	41			93,000
				売上戻り高	4/41			3,000
			純売上高					90,000

仕 入 帳

1

平成 ×年		勘定科目	摘 要		元 丁	買掛金	諸 口
6	15	当座預金	富山商店	小切手	✓		21,000
	24	買掛金	和歌山商店	掛け	買1	37,000	
	25	買掛金	和歌山商店	値引き	買1	2,000	
	29	現金	長野商店	現金	1		10,000
		買掛金	長野商店	掛け	買2	15,000	
				掛仕入高	12	52,000	52,000
				総売上高	31		83,000
				仕入値引高	12/31		2,000
				純売上高			81,000

普通仕訳帳					13
平成 〇年		摘 要	元 丁	借 方	貸 方
6	6	(現 金)	1	30,000	
		(受取手形)	3		30,000

(注) 太字は赤字での記入をあらわす。

総勘定元帳					
現 金			当 座 預 金		
6/ 1 前月繰越	×××	1	6/ 1 前月繰越	80,000	2
6/ 6 受取手形	30,000	6/16 当座預金出納帳 32,000	6/30 当座預金出納帳	100,000	
		6/29 仕入帳 10,000	6/30 当座預金出納帳	87,000	
受 取 手 形			売 掛 金		
6/ 1 前月繰越	×××	3	6/ 1 前月繰越	×××	4
6/27 売上帳	39,000	6/ 6 現 金 30,000	6/30 売上帳	3,000	
			6/30 売上帳	35,000	〃 当座預金出納帳 45,000
買 掛 金			仕 入		
6/30 仕入帳	2,000	12	6/30 仕入帳	83,000	31
〃 当座預金出納帳	43,000	6/ 1 前月繰越 ×××	6/30 仕入帳	2,000	
		6/30 仕入帳 52,000			
給 料			売 上		
6/20 当座預金出納帳	36,000	36	6/30 売上帳	3,000	41
			6/30 売上帳	93,000	

売掛金元帳					
岐 阜 商 店			山 梨 商 店		
6/ 1 前月繰越	×××	1	6/ 1 前月繰越	×××	2
6/30 売上帳	9,000	6/22 当座預金出納帳 23,000	6/ 2 売上帳	35,000	6/ 3 売上帳 3,000
					6/ 9 当座預金出納帳 22,000

買掛金元帳					
和 歌 山 商 店			長 野 商 店		
6/11 当座預金出納帳	19,000	1	6/14 当座預金出納帳	24,000	2
6/25 仕入帳	2,000	6/ 1 前月繰越 ×××	6/ 1 前月繰越	×××	
		6/24 仕入帳 37,000	6/29 仕入帳	15,000	

第16章 本支店会計

問題1 問1

		借方科目	金 額	貸方科目	金 額
①	本 店	支 店	300,000	現 金	300,000
	支 店	現 金	300,000	本 店	300,000
②	本 店	支 店	50,000	売 掛 金	50,000
	支 店	現 金	50,000	本 店	50,000

問 2

支店分散計算制度

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	本 店	仕 訳		な し	
	山口支店	島 根 支 店	20,000	当 座 預 金	20,000
	島根支店	現 金	20,000	山 口 支 店	20,000
②	本 店	仕 訳		な し	
	広島支店	岡 山 支 店	110,000	岡山支店へ売上	110,000
	岡山支店	広島支店より仕入	110,000	広 島 支 店	110,000

本店集中計算制度

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
①	本 店	島 根 支 店	20,000	山 口 支 店	20,000
	山口支店	本 店	20,000	当 座 預 金	20,000
	島根支店	現 金	20,000	本 店	20,000
②	本 店	岡 山 支 店	110,000	広 島 支 店	110,000
	広島支店	本 店	110,000	本店へ売上	110,000
	岡山支店	本店より仕入	110,000	本 店	110,000

問題 2

合 併 貸 借 対 照 表

資 産		本 店	支 店	調 整	合 併	負債および純資産		本 店	支 店	調 整	合 併
現 当 売 商	金	4,300	2,060	200	6,560	買 掛 金	金	3,360	2,590		5,950
	預 金	5,800	2,900		8,700	借 入 金	金	10,000			10,000
	掛 金	7,000	3,000		10,000	貸 倒 引 当 金	金	140	20		160
	品	1,400	780	330	2,440	備品減価償却累計額	金	1,800	900		2,700
備 支				-70		本 店	店		8,270	330	
	品	10,000	5,000		15,000					-8,600	
	店	9,200		-200		資 本 金	金	12,000			12,000
				-400		剰 余 金	金	5,500		-50	5,450
				-8,600		当 期 純 利 益	金	4,900	1,960	-400	6,440
										50	
										-70	
		37,700	13,740	-8,740	42,700			37,700	13,740	-8,740	42,700

合併損益計算書

費用	本店	支店	調整	合併	収益	本店	支店	調整	合併
期首商品棚卸高	1,200	820	-50	1,970	売上高	15,200	14,870		30,070
当期商品仕入高	12,300	5,200		17,500	支店売上高	5,500		-5,500	
本店仕入高		5,170	330		期末商品棚卸高	1,400	780	330	2,440
			-5,500					-70	
売上総利益	8,600	4,460	50	13,040					
			-70						
	22,100	15,650	-5,240	32,510		22,100	15,650	-5,240	32,510
営業費用	3,500	2,500	400	6,400	売上総利益	8,600	4,460	50	13,040
支払利息	200			200				-70	
当期純利益	4,900	1,960	-400	6,440					
			50						
			-70						
	8,600	4,460	-20	13,040		8,600	4,460	-20	13,040

問題 3

貸借対照表

資産	金額	負債および純資産	金額
現金	6,550	買掛金	12,450
当座預金	12,000	貸倒引当金	580
売掛金	29,000	備品減価償却累計額	5,220
商品	10,910	資本金	25,000
備品	9,000	剰余金	15,040
		当期純利益	9,170
	67,460	負債および純資産合計	67,460

損益計算書

費用	金額	収益	金額
期首商品棚卸高	10,870	売上高	140,280
当期商品仕入高	102,420	期末商品棚卸高	10,910
売上総利益	37,900		
	151,190		151,190
給料	17,680	売上総利益	37,900
支払家賃	9,000		
減価償却費	1,620		
貸倒引当金繰入	430		
当期純利益	9,170		
	37,900		37,900

計算過程

① 未達事項の整理仕訳

本店仕入	1,100	本店	1,100
未達現金	200	支店	200
支店	1,000	売掛金	1,000

② 本店勘定と支店勘定の相殺消去

本店	9,100	支店	9,100
----	-------	----	-------

③ 内部取引の相殺消去

支店へ売上	12,100	本店より仕入	12,100
-------	--------	--------	--------

④ 期首商品棚卸高

¥7,000 (本店) + ¥4,000 (支店) - ¥130 (内部利益)

期首商品に含まれる内部利益は本店の剰余金に含まれるので、剰余金から内部利益の金額 ¥130 を控除する。

⑤ 期末商品棚卸高

¥6,500 (本店) + ¥3,500 (支店) + ¥1,100 (未達商品) - ¥190 (内部利益)

未達商品にも内部利益が含まれているので、注意する必要がある。